

令和6年度近畿計量大会開催報告

一般社団法人大阪府計量協会

この近畿計量大会は、近畿6府県の計量関係者が一堂に会し、関係者相互の連携と協調を深めるための情報交換の場として、また、計量業界の地位向上を図ることを目的とした年に1度の重要な行事で、本年度は当協会の当番で開催されました。

大会は、令和6年11月15日（金）にシェラトン都ホテル大阪で行われ、経済産業省イノベーション・環境局計量行政室長の仁科孝幸様はじめ多数の御来賓のご臨席を賜り、近畿6府県から262名が出席し、303名の関係者が集いました。

式典は、村上昇理事長の主催者挨拶で始まり、来賓の計量行政室長 仁科孝幸様、大阪府商工労働部長 馬場広由己様、日本計量振興協会会長 鍋島孝敏様からご祝辞をいただき、引き続いて近畿計量協議会会長感謝状が、近畿計量協議会会長の村上昇様から大阪府計量器工業会の元会長 西野寧一様はじめ功績のあった6名の方々に贈られました。

記念講演第I部では、近畿大学 経営戦略本部長の世耕石弘様から「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」と題して、近代流のコミュニケーション戦略について、幅広い観点からお話をいただきました。

次の記念講演第II部テーマIでは、デロイトトーマツコンサルティング合同会社 シニアマネジャーの高橋祐児様から「空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組と今後の展望」と題して、空飛ぶクルマの概要、価値、ビジネス機会、日本での社会実装の方向性についてのお話をいただきました。

引き続きテーマIIでは、テトラ・アビエーション株式会社 代表取締役の 中井 佑様から「ビジネスエキスパートのための空飛ぶクルマ」と題して、自社で開発している100kmを30分で移動する空飛ぶクルマについてのお話をいただきました。

その後の懇親会では、アトラクションとして「おんな道楽 三味線漫談」を承継している内海英華さんの三味線漫談に笛・鐘・太鼓が加わり、最後に住吉踊りが披露されるなど、盛況のうちに今年の近畿計量大会も閉会となりました。



主催者挨拶をする村上理事長



来賓挨拶の仁科計量行政室長



来賓挨拶の馬場大阪府商工労働部長



来賓挨拶の鍋島日本計量振興協会会長



感謝状贈呈者（6名）

- 大阪府計量器工業会 元会長 西野寧一様
- 大阪府計量管理協会 運営委員 澤田秀一様
- 大阪府計量証明協会 会長 宮崎法峰様
- 大阪計量士会 相談役 原田 勲様
- 環境計量証明部会 副会長 石田勝彦様
- 大阪計量器連合会 副会長 西野佳成様

感謝状を授与される西野寧一様



講演中の世耕石弘様



講演中の高橋祐児様



講演中の中井佑様



三味線漫談を行う内海英華様